

# まよたんて

vol.112

## 主な内容

### 市政トピックス

「山陰縦貫・超高速鉄道〈リニア又は新幹線〉」の整備実現へ  
全国 52 自治体が「幸せリーグ」結成

### まちのわだい

はだしのコンサートに 4500 人

### 消防の広場

水の事故から命を守る!

ほか

2013  
平成 25 年

7 月号

6 月 25 日発行

撮影場所：青の洞窟（丹後町）

# 目次 index

市政トピックス 「山陰縦貫・超高速鉄道」の整備実現へ、「スポーツのまちづくり推進本部」を設置 ほか	P2
市政ガイド 「中東交流プロジェクト in 京丹後」開催に向けて	P7
市民栄誉賞受賞者、長寿世界一 木村次郎右衛門さん(116) 逝去	P8
京都府のひろば	P10
まちのわだい 丹後ゆかりの弦楽器で名曲を披露/松本重太郎の偉業しのぶツアー開催 ほか	P12
消防の広場	P14
みんなの広場	P16
京たんごスポーツ	P18
生命の絆	P19
情報ファイル 市の文化財/ジオトピックス/視界選考/宮川優のたんご優遊見聞録/図書館だより ほか	P20
京丹後人 ③⑨ 丹後吹奏楽団長 田中 博之 さん	P24

## 今月の「きょうたんごで“いいね”」 青の洞窟(丹後町)

ジオパークスポットを巡る「とび丸タクシー」を運航する西口敏明さん(下写真)に、撮影協力をお願いしました。



西口敏明さん  
(丹後町)

船上からのダイナミックな自然が満喫できる「とび丸タクシー」は、丹後の海を漁師さんが案内して遊覧するもの。4

コースあり、3つの漁港から出航します。青の洞窟へは、竹野漁港から出港して約10分で到着。海から見る絶景は感動もの。西口さんのジョークを交えたジオスポット紹介で、楽しさも増えますよ。◎タクシー料金：大人2,000円、子ども700円(小学生未満無料)

※青の洞窟見学、定置網漁はオプション(有料)  
問い合わせ：丹後町体験観光組合  
(080-2527-2558)

### 広域連携

## 「山陰縦貫・超高速鉄道」の整備実現へ

### 府県域を越えた50自治体による「市町村会議」発足

中山市長らの呼び掛けで始まった下関から大阪や北陸までを結ぶ「山陰縦貫・超高速鉄道」の整備促進を目指す市町村会議が6月5日、砂防会館(東京都)で行われ、超高速鉄道の整備実現に向けた取り組みがスタートしました。

本会議は山口県、島根県、鳥取県、兵庫県、福井県、京都府および大阪府の2府5県から50の市町村長で構成し、発起人の中山市長は「(整備は)山陰地域だけではなく、国家としての意義も大きい。国の最たる成長戦略はインフラ整備であり、地方負担を求めるといったことではなく、国主導の整備方式のあり方も研

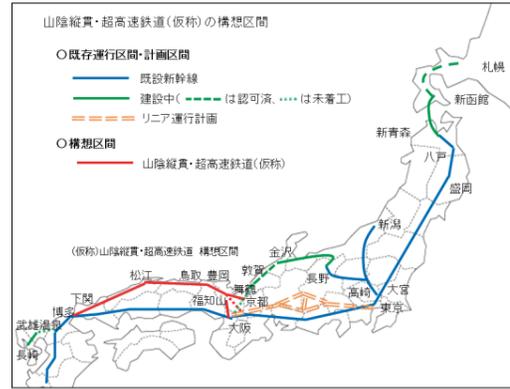
究しながら、未来の世代のために、今、我々がさらに仲間を広げ、活動していきましよう。山陰縦貫の国土軸、環日本海軸を作っていくことは山陰にとっても日本にとっても素晴らしいこと」とあいさつ。会長には竹内功鳥取市長(鳥取県)、副会長には松浦正敬松江市長(島根県)と松崎晃治小浜市長(福井県)、幹

事兼事務局長には中山市長が就任しました。顧問には高速鉄道の研究の第一人者の中川大京都大学大学院教授が、オブザーバーには同大学教授兼内閣官房参与の藤井聡さんが就任しました。同会議では、昭和の時代から構想が持ち上がっている山陰新幹線に加え、リニアモーターカーの整備も視野に入れた活動を展開していくことを確認しました。

竹内会長からは「まずは声をあげる。大きな一歩を踏み出すことが重要だ」とする力強い決意が述べられました。50年、100年後の将来の地域づくりを見据え、今後さらなる市町村のネットワークの拡大を図りながら、「山陰縦貫・超高速鉄道」の実現へ向け、府県域を越えた横断的な取り組みを進めていきます。



発起人を代表し、あいさつする中山市長(前列右)



### 誰もが幸せを実感できるあたたかい地域社会を築くー幸福大国・日本へー

## 全国52自治体「幸せリーグ」結成

### まちづくり

近年、住民の幸福を基点とした行政運営に取り組み動きが国内外でおきています。このような中、中山市長らの呼び掛けにより住民の幸福度に基づいた行政運営を目指す基礎自治体が連携し、「住民の幸福実感向上を目指す基礎自治体連合(幸せリーグ)」を結成しました。

会長には西川荒川区長、幹事に市原つくば市長、中山市長が選出されるとともに、月尾嘉男東京大学名誉教授をはじめ5人の方々から顧問に就任されました。

総会では、基礎自治体の使命として、住民の悩みや願いを受け止め、その声に真摯に向き合い、地域の将来を見据えて新たな課題にチャレンジしていくことを通じて、誰もが幸福を実感できる地域社会を築き、幸福大国・日本を創造することを目指すことなどが確認されるとともに、「共同アピール宣言」が行われました。



総会で、西川荒川区長(中央)、市原つくば市長(右)とともに「共同アピール」を読み上げる中山市長

**共同アピール宣言**  
住民の幸福実感向上を目指す基礎自治体連合、通称「幸せリーグ」を結成し、住民の幸福の追求という共通の使命のもと、志を同じくする基礎自治体が相互に学び合い、高め合うことを通じて、真に住民本位の自治体運営を実現し、誰もが幸福を実感できるあたたかい地域社会を築いていくことを宣言する。

顧問である月尾名誉教授の講演では「物質的な豊かさから、心の豊かさを取り戻す時代が来ている」

### まちづくり

## 「京丹後市スポーツのまちづくり推進本部」を設置

### 健康で活力ある「スポーツの都」を創生

市は、スポーツを通じた京丹後市の活性化を市の行政部局が連携して推進していくため、このほど「京丹後市スポーツのまちづくり推進本部」を設置しました。

市民誰もが、それぞれの年齢や体力、目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに関わることができ、市が有するスポーツ資源

を有効活用し、スポーツ環境の改善など、スポーツの推進を図るとともに、市をあげて、スポーツを活用した総合的なまちづくりの推進を目指します。

推進本部は、大村副市長を推進本部長に据え、関係部局の部長級をもって構成していきます。今後、スポーツを活用した総合的なまちづくりの推進、

生涯スポーツの推進、子どもスポーツの充実、スポーツ競技力の向上、スポーツ施設などの整備充実、スポーツ観光の推進、京丹後市スポーツ推進計画に伴う調査研究に関することなどを検討していきます。

企画画政策課  
☎69・0120

企画画政策課  
☎69・0120

防災

# Xバンド・レーダー配備に関する再質問について防衛省が再び回答

## 防衛省、再回答を踏まえ説明会開催

航空自衛隊経ヶ岬分屯基地へのXバンド・レーダー配備計画に関して、依然として残る疑問などについて、市は5月16日、10項目の再質問書を防衛省へ提出しました。市は5月28日、同省から再質問書に対する回答を受け取り、この回答について同省は5月28日、31日の4日間、にわたり説明会を開催したほか、市議会議員全員協議会でも説明を行いました。

防衛省から申し入れを受けている経ヶ岬分屯基地へのXバンド・レーダー配備計画に関して4月9日、防衛省へ提出した質問書に対する回答書を4月24日に受け取りました。同省は回答内容を説明するため、4月と5月に市内6会場で住民説明会を開催。しかし、市はその中で依然として残っている疑問を集約し、5月16日、再度電波自体の健康への影響など4項目10問についての質問書を同局へ提出し、同局から5月28日に再回答書を受け取りました。

この再回答書の内容やこれまでの経緯を踏まえ、この度、改めて防衛省が説明会を開催しました。地元を対象として5月28日に丹後町袖志区、29日に同町尾和区、また全地域を対象として30日に宇川小学校、31日に久美浜庁舎で開催しました。さらに6月7日には防衛省の山内地方協力局長らが市議会議員全員協議会で説明を行っています。

(再質問書、再回答書等の内容は市ホームページで公開)。

5月30、31日に開催した住民説明会での質問に対する防衛省および市長の回答を、抜粋してお知らせします。

### 防衛省への質問

**市民**：騒音について、市は再質問書で住民の不安を明確に書いているにもかかわらず、その答えは米国から検証すると聞いている、考えられる、と防衛省の対応が見えてこない。もし可能なら、車力分屯基地の音源で発生した音を録音して、袖志の予想されている音源の場所ですべてに流し、どれ位の感覚で地元の方が反応されるか試してみるのも一つかと思えます。

**防衛**：車力の場合には防音壁を設けて、ちょうど音源から約30メートル離れた所の境界付近では65〜70dbで、普通の人の声の大きさです。電源(発電機)は



防衛省による住民説明会(5月30日、宇川小)

車力と全く同じものを使うと聞いています。地形など色々条件があり一概には言えませんが、200メートル離れたと30db下がるというのは、一般の机上公式によりです。また、基本的には昼夜で差はありません。音を流してみるのは一つの施策であると思えます。

**市民**：レーダーは波長が大変短く、早くに電波が弱まると言われており、相当強力な電波を発信しなければならぬと思えます。



防衛省による住民説明会(5月31日、久美浜庁舎)

**市民**：米軍施設用地は防衛省が買い上げて米軍に提供するのでなく、直接米軍に売ると聞きましたが間違いありませんか。あわせて、自衛隊用地については、地権者の方は防衛省との契約になりますか。

**防衛**：取得する米軍施設用地は防衛省が地権者さんと直接契約させていただいて米軍に提供します。自衛隊も一緒です。自衛隊用地の地権者さんと防衛省が契約して自衛隊に提供します。

また、民間の技術者が基地の外に住まれる時は、民間技術者の会社が地権者さんと建設業者さんと契約します。国は全く関与しません。

**市民**：車力ではアメリカ国籍、日本国籍の方がどの位おられ、地元への雇用は臨時雇用などどんな構成になっていますか。

**防衛**：軍属なので全員米国籍です。例えば日本人が従業員で働かせてくれと言っても軍属にはなりません。日本人従業員も施設の管理などでは何人か採用させてもらっています。通訳の方も日本人従業員として採用されています。

**市民**：地域の大きな不安材料は米軍の人たちがどこに住むのかという事です。ちゃんと教育するから大丈夫というのでは心配です。車力では4キロ範囲にほんどの方がおられました。この宇川地区の平均の耕作面積は3反で、車力の100分の1しかありません。その土地を買って基地を作るといいますが、そのことについて十分考えていただきたい。

また、民間の技術者が基地の外に住まれる時は、民間技術者の会社が地権者さんと建設業者さんと契約します。国は全く関与しません。

**市民**：アメリカがどんなに良心的でも日本の法律を守る義務がないのが日米地位協定です。何かあった時の最終的な拠り所をどこに持っていけばいいのかわからないです。日本がコントロールできない所をどうやって保証していくのですか。

**防衛**：日米地位協定は、一般国際法上では駐留を認められた外国軍隊には特別の取り決めがない限り受け入れ国の法令は適用されませんが、16条の中に合衆国による我が国の法令の尊重義務がござります。また、3条3項に合衆国が公共の安全に妥当な考慮を払って行わなければならないという規定もあり、何でもやってよいという話ではありません。私たちはそれによって、しっかり対応をさせていただきます。

### 市への質問

**市民**：どちらかという早く進めたいという感じで話が進んでいる声もありましたが、少数の意見で進められているとしたら問題だと思います。区の総会すら持たれていないのではないかと感じます。区の総会の場合、1軒に1人が参加しますが、この問題については1軒に1人ではなく、区民総会という形でも意見を汲み取っていただきたいと思っています。市全体の問題でも

あります。**市長**：自治体とすれば安心安全の確保が大前提ですので、車力に視察へ行かせてもらいなから、市の現状に則した検証を重ねております。この問題は日本の安心安全に対して我々の地域がどう貢献出来るのか問われているということでは受け止めないといけないと思えます。そういう意味では急ぐ訳ではないですが、いたずらに時間を延ばすことはあってはなりませんので、速やかに手続を重ねながら、いざれ早晩地元としての考え方をまとめて明確にしていく時期も近づいていると思えます。

**市民**：市民の安心安全が第一というのであれば、Xバンド・レーダーを作らないのが一番良いのではないですか。補助金は関係ないのですか。

**市長**：日本の安心安全のために本地域が最適の候補地だという防衛上の一定の評価を背景に申し出があったということですが、しっかりと安心安全が確保されれば、それもしっかりと受け止めていかないとけないと思います。国益の部分も受け止めないといけません。地域が犠牲にならなければならない訳で、その前提が図れるのかを今一生懸命検証しています。また、補助金の話ですが、お金はこの問題の

本質ではないと思っています。損なわれる部分についていかに補うか、あくまで側面的にバックアップするものとしての意味を持たせているのだと理解しています。

**市民**：初めて久美浜で説明会が開催されましたが、説明会があるということを知らなかった方や来られない方もたくさんいらっしゃると思います。もっと丁寧な説明が必要で色んな疑問に答えていただかないといけないと思えますが、その辺りのお考えを聞かせてください。

**市長**：2月末にお話をお受けしてから3カ月が経過し、その間我々も真剣に対応して、防衛の方も真摯にご対応いただいて、視察も行っていただいて、質問も何回かさせていただきました。説明会も地元中心で所要所でさせていただいて現在を迎えています。3カ月という課程を経てますので、論点も当初よりは詰まってきたらと思いますし、知事とも引き続き意思疎通を図りながら、いざれ早晩、地元としての考えをまとめていく時期を迎えるわけです。この問

図総務課 ☎69・0140

## 市内の障害者事業所が連絡協を発足 常設店で手づくり製品販売

### 福祉



販売商品などについて打ち合わせを行う、販売実務者部会のメンバー(峰山共同作業所で)

「市障害者事業所製品販売連絡協議会」の設立総会が6月3日、京丹后市役所で開催されました。

市内の大型店における常設販売所の開設を進めるためのもの、市内の障害者施設を運営する4法人(よさのうみ福祉会、丹後大宮福祉会、あみの福祉会、久美の浜福祉会)で連絡協議会を設立。各障害者施設などで作られた製品の販売促進と、製品の良さを広く市民のみなさんに知っていただく場とするともに、さまざまな形態により市民との協働を図りながら販売を通じて障害のある人々の就労意欲の向上につなげようとするものです。

市では、障害のある人もない人も同じ地域の一員として共に生きる「共生社会」の実現に資する事業として大きな期待をしています。

総会では、会則の制定のほか組織体制、販売所開設に向けたスケジュールなどについて協議されました。

現在、店舗名称およびキャラクターを募集しています。

図 障害者福祉課 (☎69・0320)

まちづくり

再生可能エネルギー活用における地域活性化フォーラム

# 「環のちからのまちづくり」を発表



5月29日から3日間、東京国際展示場において、次世代エネルギーによる新しい街づくりの総合展示会「スマートコミュニティJAPAN2013」が開催され、中山市長がフォーラムのパネリストとして指名され、参加しました。

スマートコミュニティJAPAN2013は、エネルギー、新産業の創出などをテーマに提案を行い、未来のまちづくりの展望を開くことを目的として開催されたもので、次世代エネルギーの創出に携わる国内外の関係企業や大学、研究機関などが一堂に会しました。

プログラムのひとつとして5月29日に開催された、「第2回再生可能エネルギー活用における地域活性化フォーラム」では、林芳正農林水産大臣が「日本の地域から生まれる新しいスマートコミュニティ」と題して基調講演を行い、続くパネルディスカッションでは、林野庁林政部長の末松広行さんがコーディネーターとなり、3人のパネリストが再生可能エネルギーや環境保全などに関した地域活性化



再生可能エネルギー活用における地域活性化フォーラムのようす

化の取り組み事例を紹介しました。パネリストの一人として、再生可能エネルギーをまちづくりの柱として先進的に取り組む本市の中山市長が指名され、「環のちからのまちづくり」について、本市が行うエコエネルギーセンターを核とした資源循環の取り組みや

再生可能エネルギーの地域全面展開に向けた取り組みを発表。市内外からバイオガス発電の原料となる食品残さを受け入れ、発電の際に発生するメタン発酵液肥を農業利用して、水稲や野菜などを生産するという大きな資源循環の仕組みを説明し、これを「環のちから」農産物として市場開拓に取り組んでいることなどを紹介しました。同時に、「これらの取り組みを通じて、織物や機械金属、観光などの産業に生かしながら付加価値として組み合わせる京丹後型「新グリーン経済」の構築を目指していきたい」と発表を締めくくりました。同会は3日間で4万3千人が来場。再生可能エネルギーを中心とした新産業の創出や環境にやさしい低炭素社会の実現など、未来へ向けた社会のシステムづくりへの関心の高さがうかがわれました。

## 企業立地と産業集積の活性化に向け

商工業

# 新「基本計画」に国が同意

本市の企業立地と産業集積の活性化を目指し、京都府および本市が「京丹後地域産業活性化協議会」(沖田康彦会長)での協議を経て共同で策定した企業立地促進法に基づく新「基本計画」が、今年4月1日付けで国の同意を受けました。

この新「基本計画」は、平成19年に策定した計画が今年3月末をもって満了することを受け、引き続き市内全域において企業立地と産業集積の活性化を図るため、「京丹後地域産業活性化協議会」での協議を経て府と本市が共同で策定。今年3月に山田府知事と中山市長の連名で国に提出し、その同意を受けたものです。

今回の計画では、前計画で集積対象業種としていた繊維工業や機械金属加工業に加え、食品品製造業や木製品製造業など地域資源の活用などが考えられる業種を追加。また企業立地・産業集積の活性化のための施策として、「京丹後市新経済戦略検討会議」での検討結果に基づく商工業の総合的な振興のための新たな条例の制定や企業立地施策・制度の拡



前計画に基づき整備した「丹後・知恵のものづくりパーク」

充、高規格道路の整備促進などを盛り込んでいます。この同意により、集積対象業種に属し「企業立地計画」などの知事承認を得て立地などを図っていく企業に対しては、政令などで定められた基準を満たす場合に、税の減免措置や有利な条件での融資・信用保証制度が活用できることとなります。

# 「中東国際交流プロジェクト in 京丹後」

## in 京丹後」開催に向けて

Vol.2

今年8月の「中東国際交流プロジェクト in 京丹後」(同実行委員会主催)の開催に当たり、事業の目的や中東問題について広く市民の皆さんに理解いただけるよう、先月号からシリーズでお届けしています。第2弾となる今回は、NPO 法人大本イスラエル・パレスチナ平和研究所主任研究員の矢野裕巳さんに、プロジェクトの意義について伺いました。



矢野 裕巳

NPO 法人 大本イスラエル・パレスチナ平和研究所主任研究員

### 「違いを認める大切さ！」

私は、長らく海外との交流や外国人との仕事に関わってきました。欧米が中心ですが、アジア、そして中東の人々とも付き合いがありました。

1999年12月、初めてイスラエルを訪問して以来、2000年2月の「綾部・エルサレム友好都市宣言」調印や、2003年に始まる中東和平プロジェクトにも当初から関わってきました。これらの体験から「中東国際交流プロジェクト」の意義について、私は次のように考えています。

中東和平会議だけではないですが、互いに問題を抱える地域や国々の紛争解決の集まりでは、常に、いかに自分が正しく、相手が間違っているかの応酬です。政治が関与し、会議に参加する代表が、それぞれの地域や国家の利益を代弁するのですから、きれいごとでは済まないことも理解できます。

2003年から始まった中東和平プロジェクトの目的は、家族、親戚に紛争犠牲者を持つ10代のイスラエル・パレスチナの子どもたち(原則14歳、18歳)を日本に招いて、互いのストーリーを語り合うことです。同時に、日本の家庭にホームステイし、日本の文化に触れてもらうことも大きな柱としてあります。

まず、相手の話を聞いて、相手の気持ちを理解しよう。日本文化を实地に体験しよう。これがこのプロジェクトの大きな目的と言えます。

イスラエル・パレスチナの子どもたちは、彼らの育った文化とは違う日本文化を体験することによって、自分たちとは違った価値観を感じるようになります。このことは、彼らの将来に、そしてイスラエル・パレスチナの将来の共存に意味があると考えます。

自己の意見を強く主張するだけではなく、相手の良さを認める。話し合いを通して、イスラエル・パレスチナの若者が、日本で互いに協力しながら、和太鼓に挑戦したり、踊りをしたりして、何かを共に行うといった体験を、日本の同年代の子どもとも共有できれば、彼らにとってもまた、日本の子どもたちにとっても、素晴らしい資産になると思います。

2003年に綾部に来た子どもたちと、2年後、東エルサレムで再会しました。一人のパレスチナ人の女の子が言いました。「日本にいるときは、イスラエル人も共存できると思います。でもパレスチナに戻ってみると、それは、不可能だと感じました。私たちの現実の生活は、イスラエルの占領の中にあるから。私は将来、パレスチナ国家樹立のために努力し、将来のパ



浴衣を着て交流を図るイスラエル、パレスチナ両国の子どもたち(平成22年「中東和平プロジェクト in 綾部」)

レスチナ国家の指導者になりたい。そしてイスラエルに対しては、断固とした強い態度で臨みたいと思います」。しかし、彼女は続けました。「イスラエルに対する政治的な決定を行うとき、自分が子どもの頃、同年代のイスラエル人と、日本の家庭で過ごしたことを思い出すようにするつもりです」。

このプロジェクトによって、中東に真の和平が即座に訪れるとは到底思いません。しかし、たった1週間足らずの日本滞在でも、イスラエル・パレスチナの子どもたちに、将来の平和共存への強烈な何かを残していることは、確かだと思っています。

企画政策課 69・0120

# 木村次郎右衛門さんご逝去 116年の長寿を全う



昨年10月、ギネスの男性長寿世界一の再認定を受けた際の木村さん。得意の英語「サンキュー・ベリー・マッチ」で英国から来たギネスワールドレコーズのグレンディ編集長らを出迎えた

## 木村さんに 「サンキュー・ベリー・ベリー・マッチ」

本市初の市民栄誉賞受賞者で、長寿世界一・男性史上最長寿の木村次郎右衛門さん（丹後町中野・116）が6月12日午前2時8分、老衰のためご逝去されました。

木村さんは、明治30年4月19日生まれで、平成23年に「男性長寿世界一」としてギネスワールドレコーズ社から認定されるとともに、「市民の尊い模範であり郷土の大いなる誇り」として市初の「京丹後市市民栄誉賞」を受賞。昨年12月には、男女を通じての「長寿世界一」、「男性史上最長寿」としてもギネス社から認定を受けました。

来訪者を「サンキュー・ベリー・マッチ」「ユーアー・ベリー・カインドマン」などと得意の英語を披露しながら笑顔で迎える木村さんの人柄もあり、今年、116歳の誕生日を迎えるに当たっては、世界中からたくさんのお祝いメッセージが寄せられていました。

木村さんの葬儀・告別式は、6月14日、丹後町の葬祭場でしめやかに営まれ、遺族や地域の人たち約130人が参列。木村さんの温情あふれる人柄をしのびました。

葬儀では、曹洞宗の福山管長のほか、中山



会場には、木村さんの116歳の誕生日に世界中から寄せられたメッセージやギネス社の認定書も設置され、参列者はその人柄や功績をしのんだ

市長も弔辞を述べ（9ページ）、安倍首相からの弔電も紹介されました。遺族を代表して、木村さんの二男の浩さん（千葉県在住・81）が「父は生前、地元の人たちに感謝しないといけないと話していました。皆さんのおかげで長寿を全うできました」と最後の別れを惜しんでいました。また、会場外では6町の市民局など7カ所に記名帳を設置。計350人の方が記名するとともに、木村さんのご冥福を祈りました。

市では、木村次郎右衛門さんへのお悔みメッセージを7月11日までフェイスブック、ホームページ、郵送、または市民局への持ち込みで受け付けています。頂いたメッセージは、ご親族へお届けします。

詳しくは長寿福祉課まで  
(99・03330)

### 市長弔辞（抜粋）

私は役得そのものですが、新市誕生後の平成17年から毎年、敬老のお祝いに木村さんをご訪問させていただいておりました。木村さんはいつも両手を合掌されながら、しばしば「サンキュー・ベリー・マッチ」と得意の英語でお出迎えをうけ、ご長寿の秘訣をお尋ねしますと、「食細くして命永けれ」というお言葉とともに、「日々これ好日」また「苦にするな、嵐の後に日和あり」という、木村さんが日々の生活の中で大切にされているお言葉、人生訓を励ますようにお話しいただき、ユーモア溢れる受け答えで常に周りを和やかに、そして、ご家族や周りの皆さまへの感謝をはじめ何事も感謝する気持ちをもいつも持つことの大切さ、そんなお諭しも自然に交えながら、終始、すばらしい素敵な笑顔でおもてなしをいただき、いつも感激と感謝でいっぱいでした。

中でも、あるとき、「ご長寿の秘訣は」との問いかけに「忘れること」とおっしゃったことがあり、長寿の秘訣との組み合わせに、瞬間、意外な感じで、特に印象深く残っております。木村さんがよく

おっしゃられる「苦にするな、嵐の後に日和あり」というお言葉ですが、実は、その続きがあって、いくつかの機会ですらサラサラと言われていることがあり、それは「苦にするな、嵐の後に日和あり」に続き、「明日ありと思う心のあだ桜、夜半に嵐の吹かぬものは」という一日一日を大切に過ごすべしという趣旨のお言葉です。そして「すべてを天に任せること」とおっしゃられたことも思い出されます。誰でもそうですが、木村さん、ご生涯の中でいろんな大小の嵐もおありだったと思いますが、嵐があっても思うがままにならぬご苦難があっても、むしろそれがおのの身のためと全てを天にお任せするよ

うなこだわらないお気持ち、こだわらずに忘れるようなお気持ちを大切にされてこられたんだな、そして嵐があってもその後には日和が訪れるのを確信され、それを楽しむように、一日一日を大事に、一日一日感謝を重ねて人生を全うされたんですね、そんな木村さんのご生涯自体、そのまま、私たちが後代、世界の全ての人にとっての尊い人生訓でありますし、喜びや幸せを豊かに育み長寿が導かれるひな形でもあると思っています。世界一のご長寿であると同時に、

世界中の誰の人生の上にも模範になる世界一のご福寿を全うされたんだと感じています。

安倍 総理も

116歳のお誕生日に「木村さんのかくしゃくとした姿に、私だけでなく、日本全体が元気をもらっています。いや、ギネス

世界記録なんですから、世界全体です」と日本国民を代表するお立場から心からの祝福を寄せられました。木村さんのお言葉、お人柄、そして世界最長寿のご生涯を通じて、長寿の喜びや素晴らしさ、深い味わいを御身をもって広く全国、世界の人々に元氣にお伝えいただきました。

そのご功績は、静かですが、清らかなので、あざやかな大きな輝きを放つものであり、これからも永く、本市はもとより、日本の、そして世界の人々の中で輝く宝であり続けます。木村さんのご生涯を通じてこのような尊いご功績をしっかりと私たち受け継ぎ、市民の皆さんとともに永く敬愛を捧げながら、一日一日を大切に、喜びや幸



弔辞を述べる中山市長（右）

せを豊かに育む健康長寿のまちづくりを育んでまいります。

木村さんとさまざまな面で毎日とともに全面的にお支えをなされたご家族、ご親族、お地元、ご友人の皆さまに心から感謝を申し上げます。そして、木村さんに、全ての市民を代表して、心から深い感謝と尊敬の誠を捧げます。木村さん、「サンキュー・ベリー・ベリー・マッチ」。本当に、本当にありがとうございます。

素晴らしい素敵な笑顔を永遠に、どうか安らかに眠りください。

平成25年6月14日

京丹後市長 中山 泰

# 京都府立医科大学 附属北部医療センターを開設



▲内視鏡室を充実させるなど、施設整備が進む

北部医療センター  
になって、  
ここが変わります！

## 医師不足を解消

臨床・研究・教育能力の高い指導医の下、経験豊富な地域の医師や病院と連携。地域医療を通じて、学生がスキルアップできる環境を作り、北部地域を担う医師の育成を図ります。また、北部地域の病院・診療所からの要望を受けて医師を派遣する機能を充実させます。



## 外来受診 (月～金)

	受付時間	診察
初診・再診 (予約のない方)	午前 8時 30分から 午前 11時まで	午前 9時から
再診 (予約のある方)	午前 8時 00分から 受付開始	

※休診日(土、日、祝、年末年始)

☎ 京都府立医科大学附属北部医療センター  
(☎ 0772 - 46 - 3371)

## 高度・専門医療が受診可能に

脳や脊髄などを診る神経内科、脳卒中に対応する脳神経外科に教授クラスの医師を配置。また、最新のCT・MRIを活用し、専門医による画像診断機能を強化します。今後、増加が見込まれる認知症に対応するため、「もの忘れ外来」を設置し、診療機能を充実させます。

## 「放射線科」などを新設

「放射線科」では、専門医がCT画像などを使い、現場の主治医と病気の原因を探り、治療に当たります。また、本年度中には「総合診療科」を新設。「病気の原因が分からない」「複数の病気にかかっている、どの診療科に行けばいいか分からない」といった方を対象に診療を行います。

## 女性に配慮した「女性病棟」を開設

女性病棟を6月17日(月)から開設しています。女性の患者さんが心地よく治療を受けられ、プライバシーに配慮されて静かで和やかな雰囲気の中で入院生活を送っていただけるようにすること目的とするものです。

京都府では、府北部地域の医療提供体制の充実・強化を図るため、京都府立医科大学附属北部医療センター(通称：与謝の海病院)を開設しました。新たに特殊外来を開設したり、専門医の派遣受け入れを拡充したりすることで、府北部地域の皆さんの診療機会の増加や診療体制の充実を図ります。



▲新たなスタートを切った京都府立医科大学附属北部医療センター

平成25年4月1日付けで京都府立医科大学附属北部医療センター病院長に就任いたしました中川正法でございます。

府立与謝の海病院が京都府立医科大学附属北部医療センターとして新たなスタートラインに立つに当たり、同センターの責任者としてご挨拶申し上げます。

府立与謝の海病院の府立医科大学附属病院化により、これまでの「診療」に加えて、「教育」と「研究」という役割をより一層担っていかねければなりません。私は、「北部医療センター」の大きな使命として、次の2点を掲げたいと思っております。

1つ目に、全人的視点に立った医療(総合医療)と高度医療の充実による高齢化社会に



病院長  
なかがわ まさのり  
中川 正法

応じられる診療機能強化を図り、府北部の中核病院としての役割を果たすことです。高齢化社会では、がん、心疾患、糖尿病、認知症、脳卒中などが増加します。北部医療センターは、最新の医療を地域の皆様に提供できる体制をこれまで以上に充実させます。総合的な診療力を備えた医師を育成し、専門性と総合性のバランスの良い病院を目指していきます。

2つ目に、京都府北部地域を教育・研究のフィールドとして位置付け、診療力に加えて、研究・教育を含めた総合的な医療力を備えた人材育成と地域の特性を生かした研究を推進し、全国から地域医療を志す優秀な若手医師がキャリア形成を目指して集まるような魅力ある大学附属病院づくりを進めることです。「地域医療確保の京都モデル」の実現を目指していきたいと考えております。

さらに、地域の皆様に新しい北部医療センターをご理解いただくために、府民公開講座などを実施してまいります。

京都府立医科大学附属北部医療センターと京丹後市立久美浜病院が6月12日、相互に連携して府北部地域の医療提供体制の充実を図ることなどを目的に、「教育支援等に関する協定」を結びました。

協定書には、「府立医科大学が有する医療に関する高度な知識、技能を久美浜病院に還元すること」「地域医療マインドを持った医師を育成するために、両病院は学生や若手医師の教育・研究環境を整備すること」「地域に密着した保健・医療・福祉を一体化した包括医療を目指すこと」などが盛り込まれました。

## 北部医療センターと久美浜病院が 教育支援等に関する協定締結



▶協定を交わす北部医療センターの中川正法病院長(左)と久美浜病院の赤木重典病院長



# まちのわだい

★ town topics ★



はだしのコンサートに4500人

美しい琴引浜の環境保全呼び掛ける

6月1~2日 網野町

網野町掛津の琴引浜で6月1、2日の両日、「はだしのコンサート2013」(同実行委員会主催)が開催されました。拾ったごみが入場券となるイベントで、今年が20回目。丹後地域や京阪神などから約4,500人が参加し、海岸清掃や音楽などを通じて美しい琴引浜の環境保全を呼び掛けました。

両日も、参加者全員で約1時間、浜辺のごみ拾いを行いイベントがスタート。特設ステージでは、過去最高となる13組のアーティストが出演し、琴引浜への思いを込めて演奏を披露しました。2日目には、ビーチランニングも行われ、ランナーたちは「キュッキュ」と砂の音を立てながら砂浜を駆け抜けました。また、昨年に続き婚活イベントを開催。市内外から集まった男女がゲームをしたり、料理を作ったりしながら親睦を深めました。

同会場では、網野高校ボランティア部の生徒が参加者の拾ったごみを分類。同部の藤村孝子さん(2年)は、「注射器などの医療器具がたくさんあって驚きました。定期的にごみ拾いをして鳴き砂を守っていきます」と話していました。

フィナーレでは、島津小学校の児童が、同校の卒業生が作成した「琴引浜に寄せて」を合唱し、環境保全のメッセージを訴えていました。



▲琴引浜への思いを込めて、元気いっぱい歌う島津小学校の児童たち

## 丹後ゆかりの弦楽器で名曲を披露

ゲオルギア弦楽四十奏団が演奏会 5月31日 峰山町

5月31日、吉原小学校・峰山幼稚園の合同音楽鑑賞会が吉原小体育館で開かれ、世界的に活躍しているゲオルギア弦楽四十奏団がバイオリン、ビオラ、チェロで弦楽器特有の繊細な音を奏でました。子どもたちや保護者らは息の合った演奏に聞き入りました。

この日使われた弦楽器は、峰山町出身の田中博さんが生前に製作したもの。演奏会は、田中さんの郷里で音楽の普及を図るため、NPO法人音楽のまちづくりが企画しました。

四十奏団のメンバーは、演奏の合間に楽器の特徴を説明しながら、バッハの名曲など全10曲を演奏しました。



▲峰山町出身の職人が製作した楽器を手に、名曲を演奏するゲオルギア弦楽四十奏団の皆さん

## 剪定の技を磨き、きれいな樹形に



弥栄町の住民17人が参加

6月8日 弥栄町

▲講師の和田さん(写真右から2人目)に松の剪定を教わる受講者たち

弥栄町の吉野小学校で6月8日、剪定講座(弥栄地域公民館主催)が開かれ、町内の住民17人が剪定の知識や技術を学びました。

5回シリーズの内2回目となる今回は、講師の和田幸久さん(弥栄町)が切り戻しや間引き、新芽の摘み取りなどを実践しながら説明。受講者はアドバイスを参考に、松や梅の木にハサミを入れ、樹形を整えていました。

初めて受講した行待恵さん(弥栄町)は「いらぬ枝を見定めるポイントなど、すぐに使える知識を学びました。さっそく家の庭木で実践します」と話していました。

## 「第10回大宮町体育大会」開催

町民700人がスポーツで交流

6月16日 大宮町



寺区対口大野区・大宮中グラウンドで女子ソフトボール競技の試合(善王)

今年10回目を数える大宮町体育大会(市教育委員会主催)が6月16日、大宮中学校グラウンド(大宮町口大野)など5会場で開催され、約700人がスポーツを通じて親睦を深めました。

軟式野球やソフトバレーボール、グラウンドゴルフなど5競技8種目による地区対抗戦のほか、オープン競技のロードレース(1.6km、3km)とフットサルが行われ、各会場で熱戦を繰り広げました。

総合成績は、次のとおり。

優勝:口大野区  
準優勝:第二地区 3位:善王寺区

## かがやきの杜仲間の手しごと展



カラフルなさをり織りの製品などぞらり

6月1日 久美浜町

久美浜町竹藤の久美の浜福祉会「かがやきの杜」で6月1日、同施設の利用者が手掛けたオリジナル製品などを展示販売する「仲間の手しごと展」が開かれ、家族連れなど地域の人たちでにぎわいました。

展示販売コーナーには、カラフルな「さをり織り」のぬいぐるみやスリッパ、鍋つかみなどのほか、手すき和紙のはがきや工芸品など、利用者が丁寧に作成した自慢の製品がぞらり。利用者が、頭の中でデザインをイメージしながら織るさをり織りや、楮の木を煮込み、ふしなど不要なものを取り除いて作成する手すき和紙の実演コーナーも、来場者の関心を集めていました。

同展は、利用者の活動を地域の人たちに知ってもらおうと毎年開催されており、今年で9回目。古橋伸一施設長は「地域の人たちの支えがあってさまざまな活動ができています。利用者や地域の方とのつながりを大切にしたい」と話していました。



▲カラフルなオリジナル製品が並び地域の人たちでにぎわう会場

自分たちの海は自分たちで守る!

# マリンレスキュー



京都府水難救済会  
マリンレスキュー  
網野救難所  
東 宣行 所長

平成11年に京都府水難救済会が組織され、市内では、網野・久美浜・丹後町の各地域での海の事故に対して迅速な対応ができるように、ボランティアによる救難所が設置されました。

平成25年4月現在、マリンレスキュー網野救難所には52人が所属。水難事故発生時は、個人が所有する漁船などで現場に急行しています。

「自分たちの海は自分たちで守る!」を合言葉に、海上保安庁や消防本部と協力してマリンレスキュー活動を行っています。



▲マリンレスキュー海上保安部との合同訓練

## 主な水難救助隊の装備

▼ボート2艇  
(8人乗り・4人乗り)



▲水中スクーター



▲スキューバセット

▲簡易画像探索機

水難事故の現場は、陸上の災害現場よりもさらに生死に関わる危険性が高まります。効果的かつ安全に救助活動を行うためには、常に平常心を保ち、隊員同士が連携しながら活動することが要求されます。

水難救助隊では、あらゆる事故に対応するために実際の現場を想定した訓練を行い、技術・知識に裏付けされた経験を養っています。

また、より安全に救助活動を行うためには、隊員間の信頼関係が何よりも大切です。訓練を重ねることで信頼関係を深め、迅速で確実な救助活動、二次災害の防止に努めています。

訓練を重ねることで  
深まる信頼関係

## 他機関との連携強化を図る

～敦賀海上保安部と合同訓練を実施～



▲敦賀海上保安部の巡視船「えちぜん」から飛び込むダイバー班の隊員

近年、海上保安庁と連携して水難救助活動を行う機会が増えていることから、6月6日、敦賀海上保安部と合同訓練を行いました。

救助技術の習得だけではなく、顔の見える関係を築く上で、充実した訓練を行うことができました。

# 水の事故から命を守る! 水難救助隊

# 消防の広場

119  
火事・救急・救助

付けていますか  
住宅用火災警報器  
月に一度は動作点検

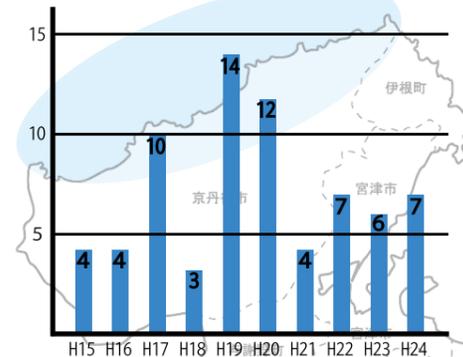
京丹後市の魅力といえば、何といても、白砂青松や奇岩に富んだ美しい海岸線ではないでしょうか。特に夏場は、海水浴や釣りなど、マリッジジャーを楽しむ人たちにぎわいます。

しかし、残念なことにレジャー客の増加とともに水難事故も増える傾向にあります。過去10年間の水難事故における出動件数は71件でした。

市消防本部では、事故が発生すると通常の救助隊に加え、特命で水難救助隊を編成し救助活動に当たっています。

今回は海の事故をはじめ、水難事故全般の救助活動を専門に行う水難救助隊を紹介いたします。

## 水難事故の専門部隊



▲過去10年間の水難出動件数

## 府下で初の水難救助隊

昭和63年、市消防本部(当時の丹後広域消防組合消防本部)は、海や河川などの事故における救助活動を目的に、京都府下で初となる「スキューバ隊」を結成しました。平成20年4月には「水難救助隊」と改名し、今年4月で発足から25年を迎えました。

平成25年4月現在、水難救助隊の隊員数は21人。ダイバー班・ボート班・指揮班の3班構成で、互いに連携しながら活動しています。

隊員らは、潜水士や小型船舶操縦士の免許を取得しており、中には急救救命士の資格を持つ隊員もいます。



▲ダイバー班を輸送するボート班



## 水難事故を防ぐために

水難事故のほとんどは海で発生し、場合によっては、尊い命が犠牲になることもあります。

波や潮の流れがある海では、思っている以上に身体に負担が掛かります。泳ぐ前には準備運動を行うとともに、疲れているときや睡眠不足のとき、飲酒の状態では絶対に海に入ってはいけません。

海水浴客でにぎわう浜辺で



水難救助隊 永岡 晃 隊長

## 「やめる勇気」も必要です!

は、子どもを見失い事故に至るケースがあります。決して子どもから目を離さないでください。また、天候が悪い日や海が荒れているときは、「海に入らない、遊泳しない」という、やめる勇気も必要です。

海水浴シーズンを目前にして、私たち水難救助隊では、チームワークを活動の柱に、潜水や操舵、救助技術の訓練に励んでいます。皆さんも、ルールとマナーをしっかり守り、夏のマリッジジャーを楽しんでください。

# 京丹後に想う Vol.9



▲稲葉本家(久美浜町)でmixひとびとtango2013のイベントに参加したジーナさん(写真右)

私はフィリピンの首都マニラ出身です。マニラはカジノやゴルフ、ショッピングを楽しむ観光客でにぎわい、日本という大阪のような陽気な都市です。22歳のとき日本に来て、翌年、主人と結婚。それから11年間京丹後に住んでいます。最初は、文化の違いや言葉の違いに戸惑いましたが、1年もするとすぐに慣れました。こちらでは、機械部品の製造現場での仕事を経て、現在は介護の職場で働いています。仕事は大変ですが、おじいちゃん、おばあちゃんの笑顔に



石田ジーナさん(34)  
峰山町赤坂在住

在住外国籍市民の皆さんから投稿いただいた京丹后市への想いをシリーズでお届けします。

つも元気をもらっています。最近はずっと京丹後の歴史や文化について知りたいと思うようになり、休日には市内の観光スポットを巡って勉強しています。お気に入りには、周辺の町並みが美しい久美浜町の稲葉本家です。

京丹後に来て一番驚いたのは、食べ物のおいしさです。中でも京丹後産のナシやリンゴ、ブドウなどの果物が大好きで、旬になると毎日のように食べています。でも、たまにフィリピンのトロピカルフルーツが恋しくなることもしばしば。

京丹後で2人の子どもを出産しました。子どもが生まれた後、看護師さんや保健師さんにミルクの飲ませ方や離乳食の作り方を教えてもらいました。フィリピンではこのような支援は無いので、とても助かりました。

私が感じた京丹後の魅力は、豊かな自然やおいしい食べ物のほか、子育てに対する温かい支援など、人の魅力です。これらの魅力をもっと外国人に知ってもらい、さまざまな国籍の方が、一緒に助け合いながら暮らせる町になればいいなと願っています。

## 京都府環境保全功労者表彰 【行政協力部門】



吉岡 勲さん(68)  
(峰山町吉原)

【自然環境保全監視員】

平成14年から11年間の長きにわたり、自然環境保全監視員として権現山京都府歴史的自然環境保全地域において、自然環境情報の把握、崖崩れやごみの不法投棄などの監視活動に尽力。当該地域の自然環境保全に貢献し、その功績が評価されました。

## 京都府環境保全功労者表彰 【団体】



▶ボートやカヌーを用いて行われた「竹野川クリーン大作戦」

森本村づくり委員会  
【委員長 河嶋英一さん・構成員 21人】

平成7年に設立して以降、竹野川堤防内に花壇を設置して管理を行っているほか、流域の住民らと共に川下りを楽しみながら、竹野川の清掃活動を実施。長年にわたり、環境保全に貢献したことが評価されました。

## 叙勲 旭日単光章(地方自治功労)



故 今中 義和さん(84)  
(峰山町長岡)

【元峰山町議会議員】

昭和50年からの3期、平成3年からの1期、計16年間の長きにわたり峰山町議会議員として活躍。建設常任委員会委員長や広報編集委員会委員長を務め、町行政の発展に大きく貢献。平成2年からは保護司として、犯罪を犯した人の社会復帰支援に尽力するなど、それらの功績が評価されました。

## 高齢者叙勲 旭日単光章(地方自治功労)



糸井 隆雄さん(88)  
(大宮町三重)

【元大宮町議会議員】

昭和50年から12年間の長きにわたり大宮町議会議員として活躍。昭和58年からは議会議長を務め、円滑な議会運営に尽力。国営農地開発事業に伴う圃場整備などの困難な事業に対して、町理事者と共に対応するなど、町行政に大きく貢献し、それらの功績が評価されました。

## 環境保全功労者等環境大臣表彰 【地域環境保全功労者表彰】

いかが会【会長 井上秀雄さん・構成員 21人】

平成元年に設立して以降、府が指定している「丹後上世屋内山京都府環境保全地域」において、内山ブナ林散策の拠点となるブナハウスの清掃や散策道の倒木除去、草刈り、ごみ収集などの整備作業を行い、長年にわたり環境保全に貢献したことが評価されました。



▲ブナ林の散策道で倒木除去作業を行ういかが会のメンバー

## みんなの声

ご意見箱から

高齢者や障害者を対象に、避難訓練を実施していただませんか

大震災が発生したときに、高齢者や障害者は無事に避難できるのだろうか心配になります。そこで、高齢者や障害者を対象にした避難訓練を実施していただませんか。  
【網野町・年齢未記入・男性】

地域を選定し、要援護者への避難訓練を行っています。

高齢者や障害者などの避難については、災害時要援護者の情報を関係団体で共有するとともに、市の防災訓練では要援護者の避難訓練を各区長へ依頼しています。また、社会福祉協議会が中心となり、市や区と連携して、毎年地域を選定し、要援護者への避難支援訓練を行っています



成人式  
森野琴海さん(弥栄町船木)  
※広報クイズの応募はがきから

【生活福祉課】

## 広報クイズの応募はがきから

今は梅雨の時期であり、良い天気が続かないですが、梅雨が明けたら、地元の山登りをしてみたいです。  
でも、少しクマ、イノシシなどが心配です。何か動物を見たらどうすれば良いですか。対策など教えてください。  
【大宮町・40代・女性】

クマなど野生動物との遭遇を避けることが最も大切です。山に入る前には、地元の人に聞くなどして、出没情報入手しましょう。  
特にクマは、餌を探して広範囲を動き回ります。山では鈴やラジオを携帯し、自分の存在を知らせ、周囲に十分注意してください。また、できるだけ単独行動は避け、複数で行動するようにしましょう。  
万が一、野生動物に遭遇した場合、刺激しないように、慌てず、できるだけゆっくりとその場を離れましょう。  
【農林整備課】



イラスト  
平井真由美さん(網野町浜詰)

生まれてきてくれてありがとう

このコーナーでは、弥栄病院で赤ちゃん誕生の瞬間を喜びご家族の姿を紹介しします。ご応募いただいた全ての方を掲載しています。どしどしご応募ください。

詳しくは秘書広報広聴課「生命の絆」係まで  
☎ 69-0110



ようこそ 脇本家へ!!  
お父さん、お母さん、日花里ねえちゃん、おじいちゃん、おばあちゃん、みんな待ってたよ



二人の赤ちゃん 産まれてきてくれてありがとう  
元気で可愛い顔を見させてくれてありがとう  
これから親子一緒に成長していくつ、  
元気にあぐあぐ育ってね。



やっと会えたね。  
生まれてきてくれて本当にありがとう!!

**脇本 亜花音ちゃん(女の子)**  
5月生まれ・3,286g  
母: 雅代さん 父: 一孝さん  
(大阪府豊中市/実家: 峰山町荒山)

**小西 桜来ちゃん(女の子)**  
5月生まれ・3,666g  
母: 絵美子さん 父: 健吾さん  
(久美浜町小桑)

**近藤 悠翔くん(男の子)**  
5月生まれ・2,830g  
母: 麻美さん 父: 大輔さん  
(大阪府枚方市/実家: 峰山町長岡)



吉岡家へようこそ!!  
元気いっしょに育てねっ

**吉岡 渚くん(男の子)**  
5月生まれ・3,438g  
母: 夏希さん 父: 高博さん  
(網野町浜詰)



私たちのヒコに生まれてきてくれてありがとう。  
これから家族皆で笑顔の絶えない明るい家庭  
を築きましょう😊

**小石原 芽愛ちゃん(女の子)**  
6月生まれ・2,854g  
母: 江里子さん 父: 寿さん  
(大宮町口大野)



赤ちゃんを産んでくれてありがとう。  
元気で育ってね。

**本田 晃己くん(男の子)**  
5月生まれ・2,790g  
母: 真砂代さん 父: 智さん  
(峰山町長岡)

**丹後初の快挙  
橘至誠館 団体優勝**

青少年剣道錬成大会

第43回府青少年剣道錬成大会(府剣道道場連盟主催)が、5月26日、京都市左京区の市武道センターで行われ、橘至誠館の女子団体が丹後地域(舞鶴以北)で初となる団体優勝を果たしました。

団体の部には、府内から39チームが出場。女子団体メンバーの奥田莉央さん(橘中2年)、大道友希音さん(網野中2年)、奥田真実さん(橘小6年)、小松あすかさん(橘小6年)の4人は順調に勝ち進み、決勝進出。決勝戦



▲団体戦優勝メンバー(左から大道友希音さん、小松あすかさん、奥田真実さん、奥田莉央さん)

では京都太秦少年剣道部と対戦し、大将戦までもつれ込む拮抗した試合の末、勝利をつかみました。大将を務めた奥田莉央さんは「みんなの声を掛け合って、控えメンバーも含め全員がベストを尽くしました。優勝できて本当にうれしいです」と笑顔で喜びを語りました。

また、同大会の個人戦では、小学生高学年の部に出場した小松あすかさんが3位入賞を果たしました。

同日開催された全国道場少年剣道大会府予選には、橘至誠館の中学生団体のメンバー5人が出場。昨年に続き、全国大会出場を決めました。東剛志主将は「1回戦敗退だった昨年の雪辱を果たします」と抱負を語りました。



▲全国道場少年剣道大会府予選に出場した主将の東剛志くん(写真上)

北近畿ソフトテニス大会

**98チームが熱戦**

第21回北近畿中学生ソフトテニス大会が6月2日、久美浜中央運動公園(久美浜町)で行われ、本市をはじめ、宮津市、与謝野町、兵庫県から豊岡市、養父市などの98チーム1996人が参加。男子の部48チーム、女子の部50チームに分かれて、熱戦を繰り広げました。

この大会は、ソフトテニスの普及と技術力向上、他地域の中学生と交流を深めることなどを目的に、市教育委員会が主催しているものです。



▲第一試合、打撃戦となった久美浜対峰山中の試合

**網野中がサヨナラ勝ちで優勝  
市長杯争奪中学校野球大会**

第10回京丹後市長杯争奪中学校野球大会(市教育委員会、中学校体育連盟主催)が6月1、2日の両日、峰山球場で開かれ、参加した市内7校が白熱した試合を繰り広げました。

決勝戦は、網野中と大宮中が対戦。試合は緊迫した投手戦が続く、延長戦に突入しました。2対2で迎えた9回の裏、網野中が3対2のサヨナラ勝ちで、市長杯を獲得しました。

大会結果は次のとおり。

〔優勝〕網野中学校  
〔準優勝〕大宮中学校  
〔3位〕久美浜中学校、橘中学校  
※本大会は7回ルール



▲熱戦を繰り広げる峰山中学校(水色ユニフォーム)と出石中学校(黄色ユニフォーム)



### 山陰海岸国立公園指定 50 周年

## 山陰海岸の魅力を国内外に発信！！

今年7月、優れた自然景観の「山陰海岸国立公園」が指定50周年を迎え、環境省や関係府県市町などが実行委員会を組織して、各種事業を実施します。

山陰海岸国立公園指定50周年事業は、豊かな自然の象徴である国立公園、世界に誇るジオパークでもある山陰海岸の魅力や素晴らしさを、未来を担う子どもたちが、次世代に引き継いでいく契機とするとともに、多様な主体が連携・協調し、

その魅力を国内外に広く情報発信を行います。

山陰海岸は平成22年10月に世界ジオパークネットワークに加盟認定(国内4番目)され、地域でも保全と活用の気運が高まっています。国立公園指定50周年を契機に、より一層、国立公園の各種事業と山陰海岸ジオパークの連携を積極的に図り、その魅力を紹介していきます。

(観光振興課)

#### 山陰海岸国立公園指定50周年事業の概要

＜基本方針＞：子どもたちによる継承、協働連携、情報発信

- ◎キックオフイベント：6月30日(日)  
実行委員会を構成する3市3町内で一斉グリーン作戦など
- ◎山陰海岸国立公園指定50周年記念フェスティバル in 鳥取砂丘：8月24日(土)  
【場所】鳥取砂丘こどもの国(鳥取市)  
【内容】オープニングセレモニー、来賓祝辞、自然公園関係者環境大臣表彰、山陰海岸国立公園関係者特別表彰、著名人による記念講演 など

- ◎3府県子どもジオパークサミット：9月7日(土)  
【場所】岩美町中央公民館(兵庫県岩美町)  
【内容】オープニングセレモニー、子ども研究発表会、著名人によるトークショー など
- ◎パートナーシップイベント：6月30日(日)～9月7日(土)  
関係自治体、団体などが行うイベントをパートナーシップイベントとし、関係者の連携を深めるとともに山陰海岸の魅力を発信します。



▲青龍三年銘の鏡。作られた当時は、新しい10円玉のような色でピカピカに光っていた

当時中国では、文字を書く文化が発達し、役人などは重要事項を書物として残していました。一方、日本では5世紀後半ま

この鏡には、「青龍三年顔氏」と漢字39字が並んでいます。意味は「青龍三年、顔氏が鏡を作ったが、文様も立派に出来上がった。左に龍を、右に虎を置いて不詳(祥)を避け、朱雀と玄武も陰陽に従って正しく配置した。八子と九孫がすべて中央の職に就き、寿命は金石の堅きが如く長生きし、候王となるにふさわしい」です。

### 机に座って漢字の勉強も?

真偽は分かりませんが、丹後の文化が進んでいたことは確かです。古代丹後人は「外国語力」が高かったのかもしれない。(秘書広報課 高倉遼)

丹後の王は、4世紀にすでに漢字が読み書きできたのかもしれない。峰山町の古殿遺跡からは、この時代の木製品が数多く出土しており、その一つに「四脚案」があります。案は机を指すもので、この案が文字を書くのに使った文机ではないかとの意見もあります。もしそうだとすると、

で文字がなかったと考えられています。となると、この鏡を手に入れた丹後の王は、この意味を知らなかったのでしょうか。確かに証拠はありませんが、当時丹後は中国(楽浪郡・帯方郡)と交易していたため、文字がなくても通訳を介して漢字を教わっていたかもしれません。

「視界遼考」は、丹後建国1300周年を記念して、古代丹後に暮らす人々の文化や生活にスポットを当てたコラム。この地に人が現れてから「丹後国」ができるまでをシリーズで紹介していきます。丹後の歴史勉強中の私と一緒に、はるか丹後をのぞいてみましょう。優れた技術や文化だけでなく、意外な生活も垣間見えるかもしれませんよ。



### 丹後建国1300年

#### 丹後の王は、読み書きできた?

今回の舞台は古墳時代の前期。平成6年1月、「青龍三年」の年号が刻まれた銅鏡(方格規矩四神鏡)が、弥栄町と峰山町にまたがる大田南5号墳から出土しました。年号が刻まれた鏡の中では、日本最古の鏡とあって、大変注目されました。



「視界遼考」は、丹後建国1300周年を記念して、古代丹後に暮らす人々の文化や生活にスポットを当てたコラム。この地に人が現れてから「丹後国」ができるまでをシリーズで紹介していきます。丹後の歴史勉強中の私と一緒に、はるか丹後をのぞいてみましょう。優れた技術や文化だけでなく、意外な生活も垣間見えるかもしれませんよ。

### 京丹後市の文化財 87

#### 線刻薬師如来御正体

(弥栄町木橋)

御正体とは、鏡や鏡に見立てた銅板の表面に仏さまの姿を線彫りしたものです。仏さまが人々を救うために神として現れたとする神仏習合の考えをもとに作られました。後には、より立体的な仏さまの姿をあらわした懸仏へと発展します。

木橋区の線刻薬師如来御正体は、直径15・6センチの銅製の円板に、吊りさげ用の輪が二つ取り付けられています。表面には、日吉神社に祀られた大山昨神の本地仏とされる薬師如来の姿が刻まれています。これらの



線刻薬師如来御正体(木橋区所蔵)

#### 市内に残る数少ない御正体

特徴から見ると、平安時代の終わりから鎌倉時代の始め、つまり12世紀後半から13世紀前半頃に作られたものと推定されています。以上のように木橋区の線刻薬師如来御正体は、市内に残る数少ない御正体の一つとして貴重なものである点が評価され、平成9年3月19日付で弥栄町指定文化財(工芸品)に指定。平成16年の京丹後市発足の伴い京丹後市指定文化財となっています。

現在は、京都府立丹後郷土資料館(宮津市国分)に寄託・展示されています。(文化財保護課)

### Pick-up

#### 稲作発祥の地「月の輪田」で田植え式

半世紀ぶりに復活 後世に歴史と伝統を継承



峰山町二箇の「月の輪田」で6月2日、古代米の田植え式(同区主催)が開催されました。三日月の形をしていることから「月の輪田」と呼ばれ、江戸時代の「丹後旧事記」には、食物の神である豊受大神が太陽の神である天照大神のために稲作を始めた場所で、日本の稲作発祥の地と記載されています。昭和40年頃までは、この地で収穫した米を伊勢神宮(三重県伊勢市)に奉納していたとの記録も残っています。しばらく途絶えていた稲作は、今年、丹後建国1300年を迎え、伝統と地域の活性化、丹後米のブランド化につなげようと地元区民を中心に半世紀ぶりに復活しました。

田植えを前に行われた式典で中山市長は、「日本の稲作発祥の神話が伝わる地として大きな喜びを感じています。丹後の農業の未来、発展への苗代をお植えする取り組み」とあいさつ。続いて林農林水産大臣や鈴木伊勢市長からの祝電が披露されました。

式典後、同会場に山田府知事が駆け付け、地元の子もたちやよしもと芸人の月亭太遊 ※さんらとともに田植えに参加。「月の輪田」(約6.6㎡)と、隣接する田んぼ(約300㎡)に赤米をはじめ、黒、紫3種類の古代米の苗3600株を植えました。

式を主催した野木達秋二箇区長は、「この取り組みを継続して、区民の交流や稲作発祥の地として、後世に伝えていきたい」と話していました。

11月上旬、収穫祭や伊勢神宮への奉納が予定されています。



「月の輪田」に赤米の苗を植える参加者(左から中山市長、巽府議会議員、山田府知事、月亭太遊さん)



「月の輪田」隣の田んぼに3種類(赤・黒・紫)の古代米の苗を植える地元住民ら

※京都北部のまちづくり・活性化プロジェクトを展開する吉本興業の芸人。主に落語を通して、市内各地のイベントなどに出演し、盛り上げ役として活躍する。

図書館だより

◆開館時間 / 10時～18時(峰山・あみののみ水曜は19時まで)
◆貸出 / 1人20点まで・2週間
◆図 / 峰山図書館(☎62-5101) 大宮図書室(☎69-0672)
あみの図書館(☎72-4946) 弥栄図書室(☎65-2101)
久美浜図書室(☎82-1771) 丹後図書室(☎69-0664)

7月図書館カレンダー
日 月 火 水 木 金 土
6/31 1 2 3 4 5 6
7 8 9 10 11 12 13
14 15 16 17 18 19 20
21 22 23 24 25 26 27
28 29 30 31 8/1 2 3



七夕は雨がいいかもね♡

6月に入っても雨知らずの毎日が続き、農家の皆さんは頭を抱える日々が続いたことかと思ひます。

そんな中、「もしかしたら今年は雨が降らないかも…」と、ときめいている二人の姿が夜空に見え隠れしています。その二人とは…1年に1度だけ、七夕の夜に出逢うことを許された「ひこ星」と「おり姫」です。

もし、願いもむなく雨だったときは、こちら↓にお越しください！京丹後市役所丹後庁舎3階にある星空体験学習室「童夢」です！

クリーンに映し出される映像は、かなりの迫力！映像が動いているのに自分が動いているような錯覚に陥ることも…。まさに宇宙空間です。このプラネタリウムは、平成17年から利用が始まりました。

宮川 優 (みやがわ ゆう)
京丹後コミュニティ放送・局長。FMたんごメインパーソナリティー。朝の情報番組「たんごモーニング・サンド！」(7:00~8:58)を担当。



未知の世界である宇宙に少し近づくことができる「童夢」は、京丹後のおすすめスポットの一つです。庁舎3階から真正面に見える立岩の風景とともに楽しみください。

市政情報番組 FMたんご FM79.4MHz

●京丹後市からのお知らせ
月～金 7:53～7:58、13:00～13:05、16:54～16:59



今月のおすすめ

ざっそうの名前



「どの花にもみんな名前があるんだよ」と花の名前を太郎に教えてくれるおじいちゃん。「雑草」と呼ばれる草花など全てを美しい刺繍で描いています。

長尾 玲子 / 著
福音館書店

赤いカンナではじまる



書店員、編集者、出版社営業マンなど、本に関わる人たちの「過去との出会い」を描いた短編集。学生時代を振り返り、切なく、ほんのり温かい気持ちにさせてくれる恋物語です。

はらだ みずき / 著
祥伝社

お知らせ

★市立図書館のおすすめ本リストを作成します

夏休みを前に、小学校低学年・中学年・高学年、中学生向けのおすすめ本リストを作成します。リストは各図書館(室)で配布しています。



★夏休みは開館時間を変更します

小中学校が夏休みの期間(7月20日～8月28日)は、各図書館(室)は午前9時から開館します。

★テーマ展示をご覧ください

月ごとにテーマを決めて、そのテーマに沿った本を集めて展示しています。7月は、各図書館(室)ごとに「夏」にちなんだ本を展示しています。

★「科学あそび教室」で光の不思議を体感

あみの図書館

「子どもたちに、科学に関する本に興味を持ってもらおう」と6月9日、あみの図書館で小学生を対象とする「科学あそび教室」を開きました。

参加した子どもたちは、光の不思議を体感するとともに、万華鏡作りなどを楽しみました。



▲素材や成分の違うさまざまな物にブラックライトを当てて、発色の違いを見る実験を行いました

広報クイズ



今月号の記事の中からクイズを出題します。全問正解者の中から抽選で5人に図書カード500円分をプレゼント！

- 問1 表紙の写真は○の洞窟
問2 松本○○○翁の没100年を記念し住民がツアー開催
問3 稲作発祥の地「○の輪田」で田植え式

◆応募方法

はがきに①クイズの答え(○の中に入る数字や文字)②住所③氏名(ふりがな)④年齢⑤電話番号⑥広報紙の感想やイラスト、取り上げてほしいテーマなどをご記入の上、秘書広報広聴課まで(宛先は裏表紙を参照)。

◆応募締切

7月16日(火) 当日消印有効。当選者の発表は8月号のこのコーナーで。

◆6月号の答え

問1…現役 問2…のぼり 問3…山

◆6月号当選者

市原陽次郎さん(千葉市)、桜井治代さん(丹後町)、今井善四郎さん(網野町)、平井真由美さん(網野町)、辻村世津子さん(弥栄町) 応募総数17人、全員正解でした。

京丹後市国際交流協会



外国人も暮らしやすい社会に

地域の活性化を多文化共生の視点から考える研修会を、5月22、29日の両日、市国際交流協会と府国際センター、京丹後市との共催により、市役所峰山庁舎で開催しました。

京都府丹後文化会館 インフォメーション

SHIRYU&MAIKO マリンバ・スペシャルコンサート

7/28(日) 前売券発売中

開演 14:00 (開場 13:30)
京都府丹後文化会館(峰山町杉谷)
料 一般…2,500円(当日3,000円)
高校生以下…1,000円(当日1,500円)
全席指定

京都府丹後文化会館 ☎62-5200
※未就学児の入場はご遠慮ください
主催 / 京丹後市・(公財) 京都府丹後文化事業団



市職員人事異動

新規採用 [6月1日付]
弥栄病院栄養部
栄養士 野村 真美

異動 [6月1日付] ※カッコは前所属
企画総務部人事課
主任技師 後藤 哲
(上下水道部水道整備課主任技師)
上下水道部水道整備課
技師 中江 隆夫
(農林水産環境部農林整備課技師)

おわびと訂正
6月号10頁の「丹後農業・農村コンクール」の記事で、銅賞の撮影者が荻野博さんとなっていたが、正しくは荻野博さんです。おわびして訂正します。



若者・よき者・ばか者がまちをかえる



若さあふれるひと・地域のおさを発見してくれる人・ひとつのことに夢中に打ち込むひと



# kyotangojin

「丹後吹奏楽団」 団長

たなか ひろゆき  
**田中 博之** さん(44)  
大宮町周枳



吹奏楽の魅力やコンクールへの意気込みを語る  
田中さん(練習会場の旧周枳小体育館で)

## 吹奏楽団結成25周年 新たな高みに挑戦

「好きな音楽を楽しもう、音楽で地域に貢献しよう」を合言葉に音楽活動続ける「丹後吹奏楽団」(田中博之団長・58人。今夏、楽団の実力試しとレベルアップのため、初の吹奏楽コンクールに出場する。前団長の後を引き継いで3年、田中団長に近況を伺った。

昭和63年、京都国体の式典演奏をきっかけに地元の高校吹奏楽OBを中心に結成。「音楽を楽しむとともに、地域の文化のために頑張ろう」と35人の有志で活動をスタートした。国体での演奏に続き、2週間後、神戸市で行われていた国民文化祭のイベントに出演。全国から集まったバンドに交じって、ホルスト作曲「木星」を演奏した。「この時、他団体との実力差は歴然

だった。いつかは自分たちもこうなりたいと思った」と当時を振り返る田中さん。

結成から1年で定期演奏会を開催。以後、毎年実施するほか、地域の文化祭や納涼祭などのイベントに出演し、音楽の楽しさを伝えていく。メンバーが増え活動が充実する一方、音楽に対する意見や考えの違いから、不安定な時期もあったという。音楽でつながるメンバーも今や約60人を数える大所帯。市内唯一の吹奏楽団で、高校生から60代の主婦まで年齢や職業、経歴はさまざま。マーチや組

曲、オリジナルなどの吹奏楽曲をはじめ、歌謡曲やアニメソング、童謡など常時30曲のレパートリーを持つ。

結成から25年、演奏する楽器も20種類を超え、複雑な楽曲もこなせるようになった今、自分たちの腕試しにと、メンバーからコンクール出場の提案を受けた。周囲の関係者も後を押す。結成当時の「いつかは」という思いに加え、新たな目標に挑戦することで技術や結束力の向上につなげようと出場を決めた。

同コンクールは、丹後の楽団として初めての出場となる。「新しい歴史を刻むと同時に、京都市内へ北部の楽団をPRする良い機会。結果によっては、さらなる機運の高まりが期待でき、とても意義深い」と意気込みを語る田中さん。コンクール出場に向け、週2日の夜間練習に加え、専門の講師を招き強化合宿も行っている。

取材当日は、課題曲「エンターテインメント・マーチ」と自由曲「民衆を導く自由の女神」の演奏が繰り返行われた。リズムカルなテンポの行進曲とフランス革命の情景を想像させる迫力のある楽曲で上位入賞を目指す。田中さんは「各パートの気持ちをひとつにすることが重要。前後左右のメンバーの息づかいまで意識しなければならぬ。簡単ではないけど、みんなのタイミングが合った時は最高」と笑顔で話す。

最後に、吹奏楽の魅力を尋ねた。「ひとつになれること。聴いてくれる人が楽しんでくれると、自分たちもさらに楽しむことができる」と田中さん。

コンクールは8月4日。13チームが熱戦を繰り広げる。チーム一丸となって、大舞台に挑む。

## つぶやき

▼広報を担当して3カ月。自分の書いた文章や撮った写真が紙面として出来上がると、感慨深いものがあります。まだまだ未熟ですが、皆さんにとって魅力的な広報誌になるよう頑張ります▼今月号では、表紙写真の撮影に丹後版「青の洞窟」(丹後町)へ行ってきました。青の洞窟はもろろんエメラルドグリーンに輝く海、両脇にそびえ立つ柱状節理の岩礁、岩肌の「♥マーク」など見所がたくさん。さらにとび丸タクシー船長の西口さんが語る逸話の数々。「口を広げた獅子」や「金の鯛」、屏風岩の「栄光の一本松」などなど。▼普段見慣れた風景の中にも新たな「発見」があるかもしれません。陸から眺める海もいいですが、海上ドライブなどいつもの違った目線から、丹後の自然を体感してみたいいかがですか/光

## 人口・世帯数

男	28,665人 (-34)
女	30,832人 (-4)
計	59,497人 (-38)
世帯数	22,576世帯(+38)

6月1日現在、カッコ内は前月比。  
住民基本台帳(外国人含む)による。



# クマに注意!! 目撃情報が寄せられています